

令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 青山 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和5年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。（熱中症等の予防の観点から、20mシャトルランについては、5月中旬から6月上旬に実施しています。）

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部分です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

〔8種目〕 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

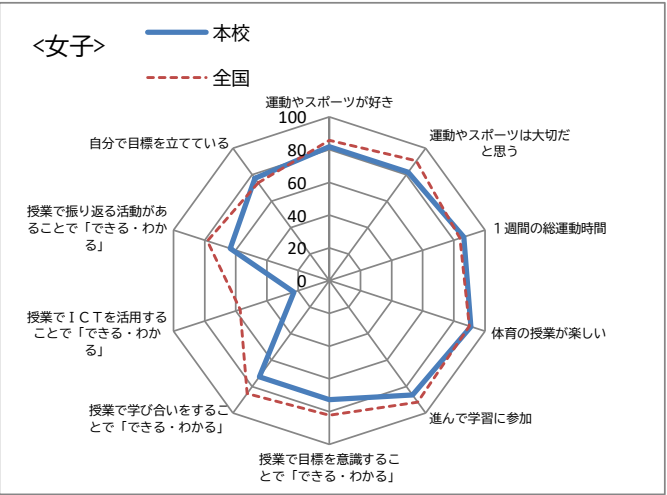
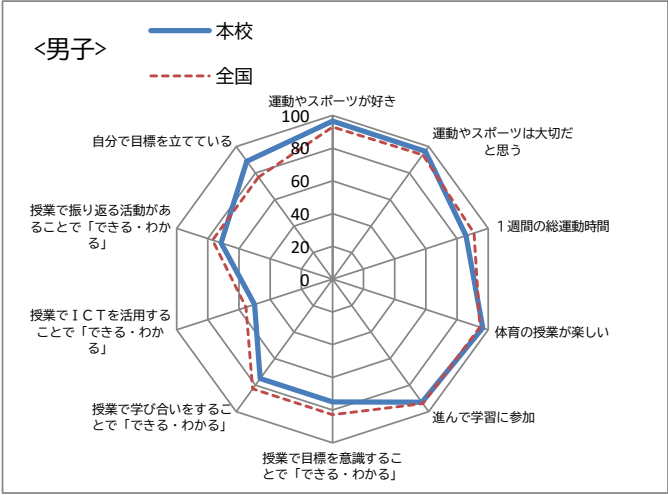
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
本市	16.30	19.17	34.49	40.75	49.29	9.48	152.47	21.39	53.38
本校全国平均以上の種目		○	○	○	○	○			○

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28
本市	16.35	18.36	38.88	38.78	39.26	9.70	145.97	13.51	55.18
本校全国平均以上の種目		○		○		○			○

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

【成果】「自分で目標を立てている」「体育の授業が楽しい」という項目において男女ともに全国を上回る。日ごろから児童が課題意識をもち、授業に向かえるように授業を工夫している結果であると考えられる。

【課題】男女ともに「授業で～できる・わかる」の項目においては、男女ともに全国を下回る。本校の児童は課題意識をもち、楽しみながら運動に取り組んでいるが、授業の中で担任や周りの友達から、称賛される時間を確保することで「できた・わかった」という自己肯定感を高められるよう取り組む必要がある。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

特に課題であるICTの活用を中心としたい。ICTを活用した体育の授業機会を増やすようにできるように、活用できそうな単元をカリキュラムの中で紹介したり、位置づけたりすることで活用における気持ちの面での壁を減らしていきたい。(NHK for schoolを活用し、動きの確認をする、遅延再生アプリで自分の動きを確認する、など)

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

冬季に持久走大会を実施する。授業の中の初めの時間を活用し、継続して練習を行い、大会に向けて記録を取ることで記録の伸びを通して「できる・わかる」を実感させていくことをねらいとする。